

健康寿命の状況について

総合目標：健康寿命（健康上の理由で日常生活が制限されことなく生活できる期間）の延伸と健康格差の縮小（区市町村間における健康寿命の差の縮小）

□ 65歳健康寿命の推移

65歳健康寿命：65歳の人は何らかの障害のために日常生活動作が制限されるまでの年齢を平均的に表すもの

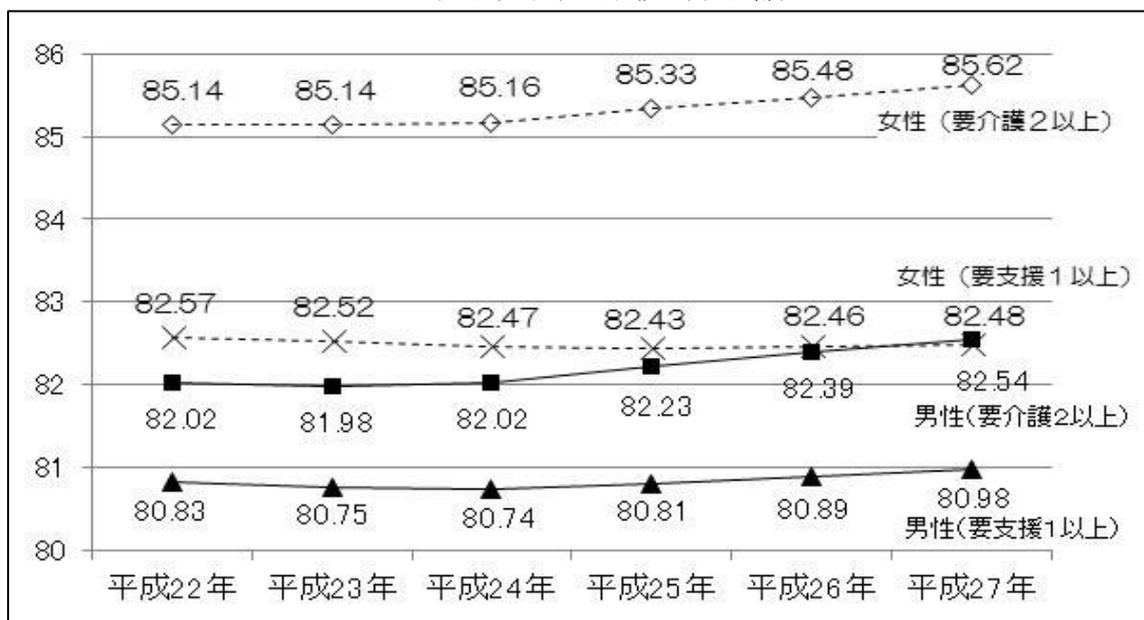
都では、65歳健康寿命の把握に当たり「東京保健所長会方式」を採用し、介護保険の認定者数データを用いて要支援1以上を障害とした場合と、要介護2以上を障害とした場合との2パターンを算出している。

（参考）

健康日本21（第二次）における健康寿命：日常生活に制限のない期間の平均

算出方法：国民生活基礎調査の「あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」に対する「ない」の回答を「日常生活に制限なし」とし、算出

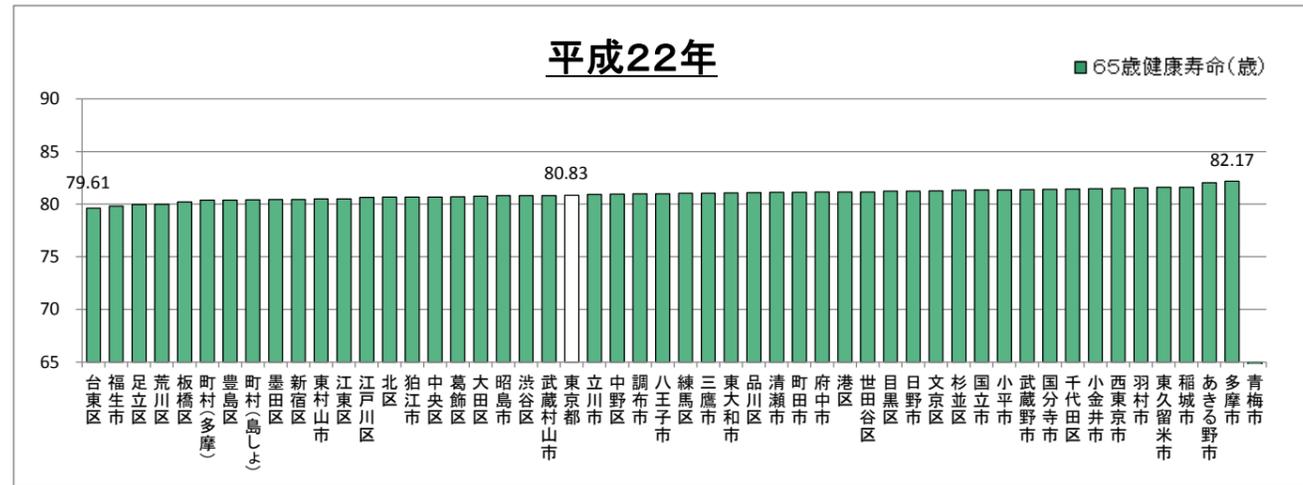
65歳健康寿命の推移（東京都）



65歳健康寿命

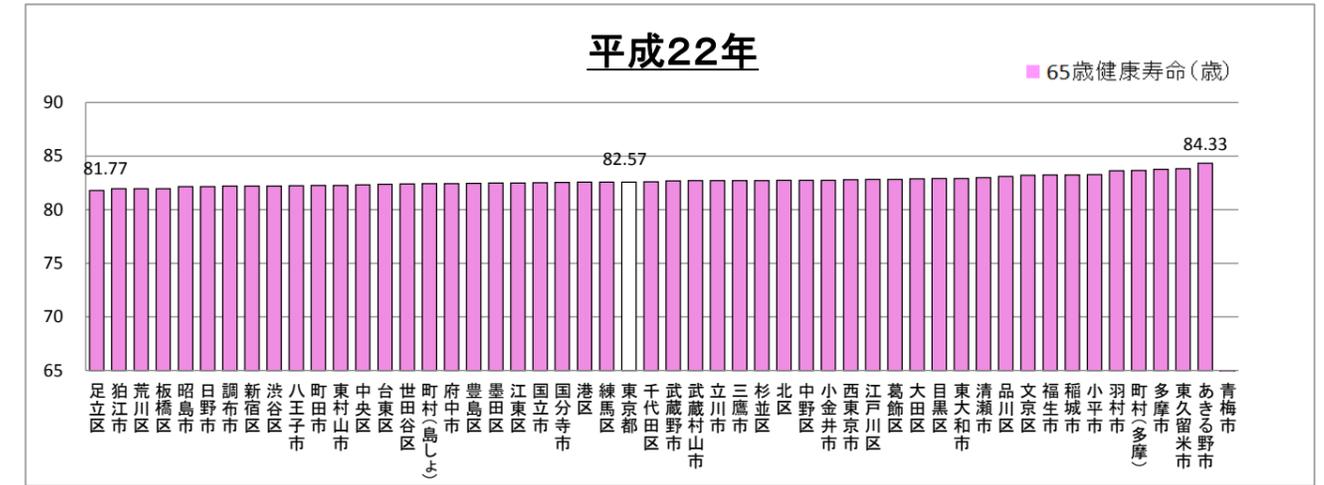
(要支援1以上の認定を受けるまでの平均自立期間で算出した場合)

男性



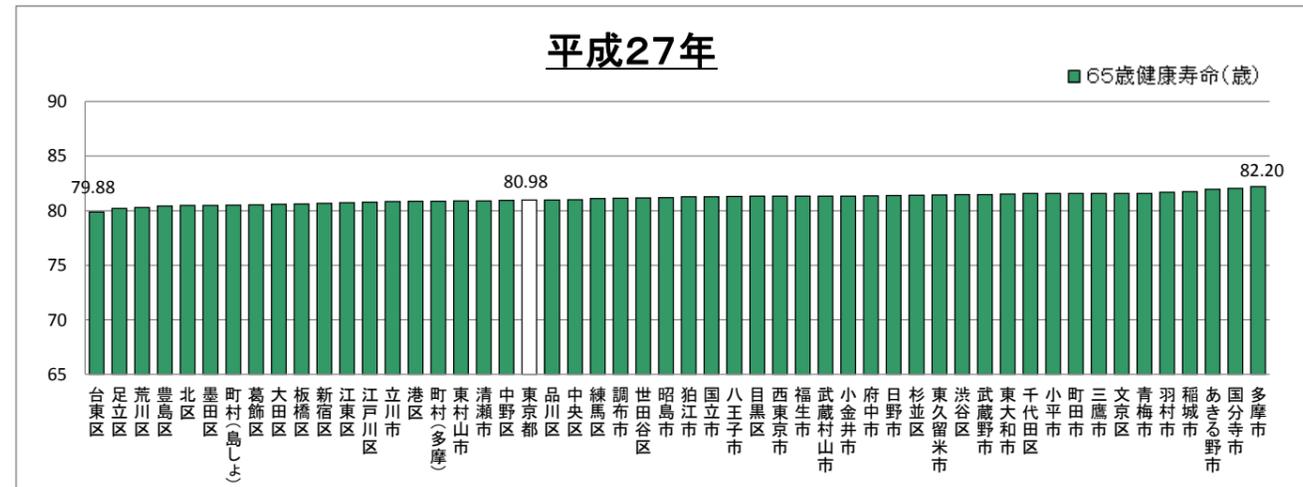
※ 青梅市は、平成22年算出用の基礎データ未提出のため値なし

女性

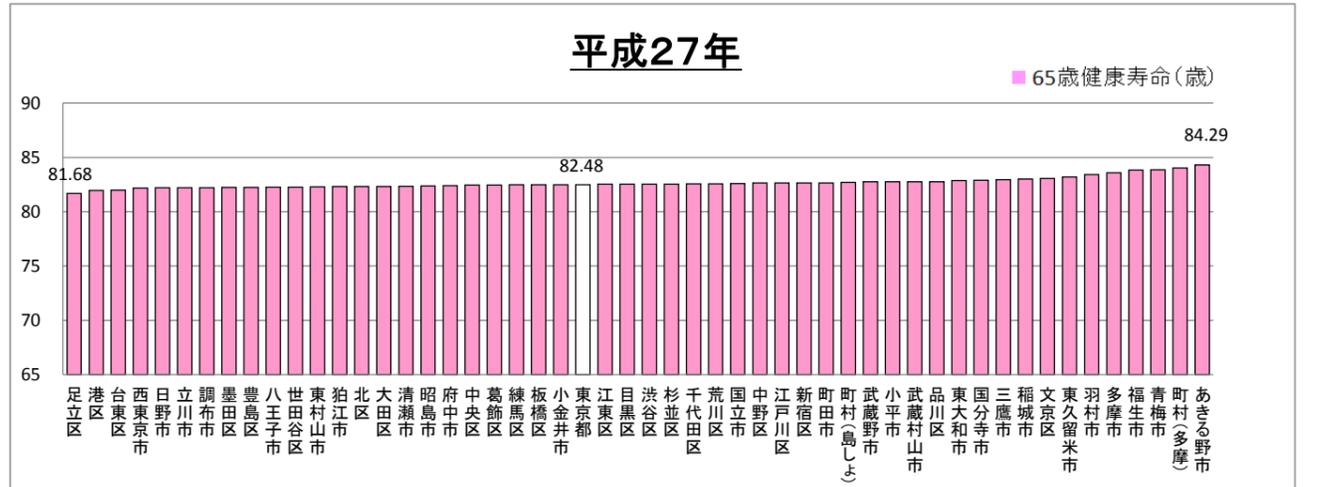


※ 青梅市は、平成22年算出用の基礎データ未提出のため値なし

平成27年



平成27年



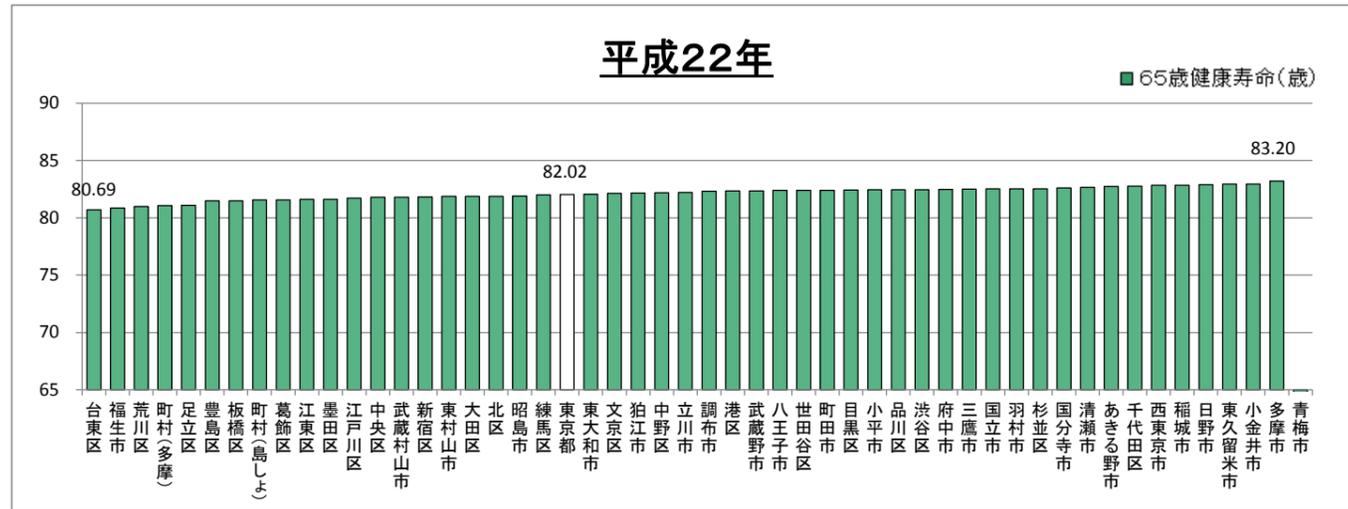
男性	東京都全体	標準偏差	最小値と最大値の差
平成22年	80.83	0.73	2.56
平成27年	80.98	0.71	2.32

女性	東京都全体	標準偏差	最小値と最大値の差
平成22年	82.57	0.72	2.56
平成27年	82.48	0.72	2.61

65歳健康寿命

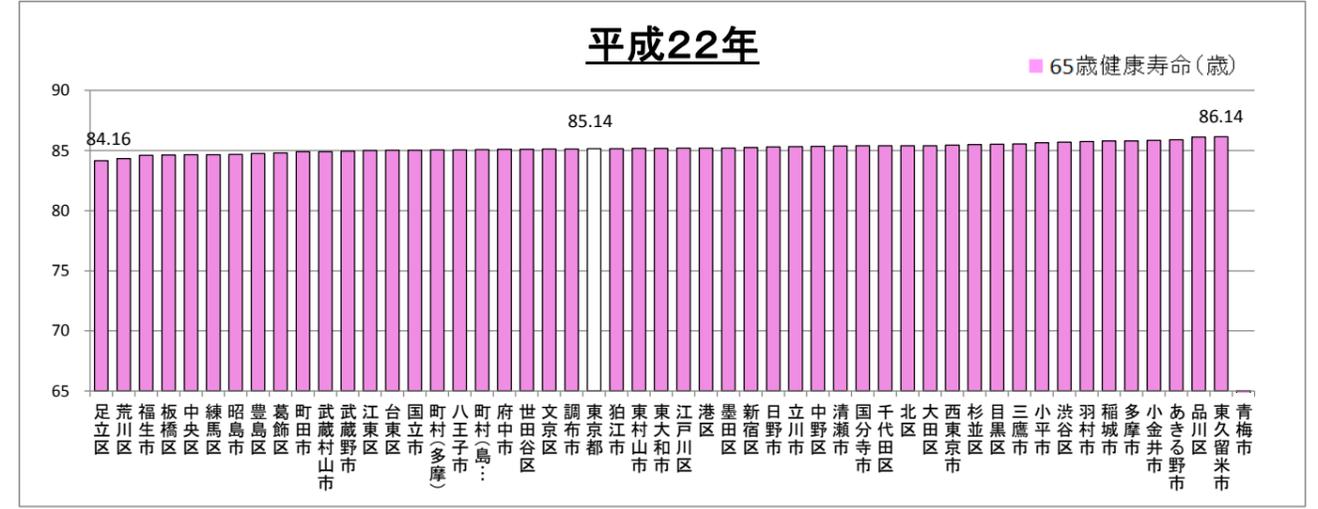
(要介護2以上の認定を受けるまでの平均自立期間で算出した場合)

男性

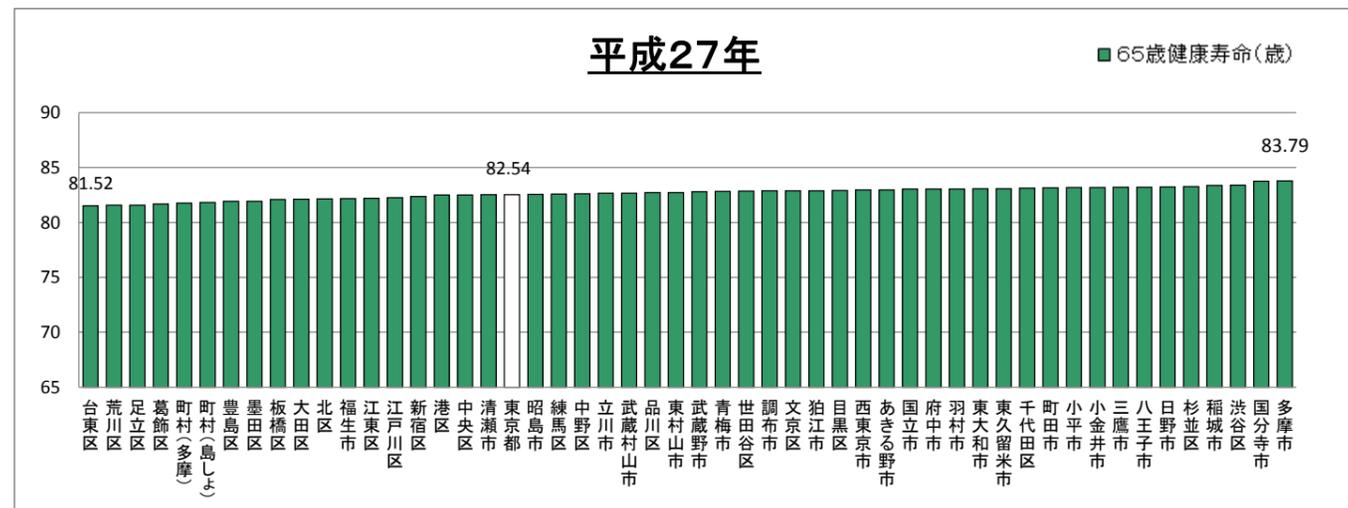


※ 青梅市は、平成22年算出用の基礎データ未提出のため値なし

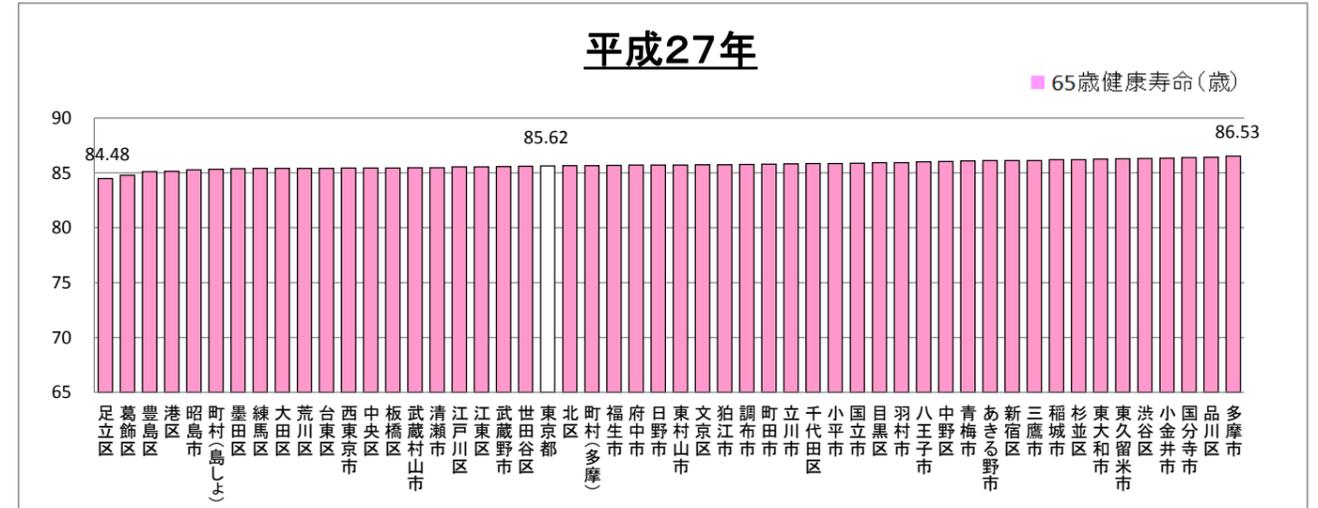
女性



※ 青梅市は、平成22年算出用の基礎データ未提出のため値なし



男性	東京都全体	標準偏差	最小値と最大値の差
平成22年	82.02	0.76	2.51
平成27年	82.54	0.75	2.27



女性	東京都全体	標準偏差	最小値と最大値の差
平成22年	85.14	0.65	1.98
平成27年	85.62	0.65	2.05